



北川さんは10月20日に逝去されました。ご冥福をお祈りします。

## 長寿を祝して 敬老福祉金贈呈

市では、市内の米寿（88歳）を迎えた人および100歳以上の市民の皆さんへ、長寿を祝福し敬老福祉金を贈呈しています。9月19日（休）、百寿（100歳）を迎えた柳町の北川愛子さんの自宅に栗貴章市長が訪問し、祝いの言葉と共に花束と敬老福祉金を贈りました。北川さんは「たくさんの人にお祝いしてもらい、とてもありがたいことです」と感謝の気持ちを伝えました。北川さんの家族によると、よく食べてよく寝ることが元気に暮らせる秘訣とのことでした。

## 戦争を忘れないために 「平和の旅」報告会

市は、毎年8月6日に広島市で開催される「平和記念式典」に合わせ、平和の大切さについて学びを深めるため「平和の旅」として市内中学生を派遣しています。10月11日（金）には初めての報告会が市役所で開催されました。来場者50人に対し、市内中学生14人が平和の旅を通して感じたことをスライドショーで発表し「この惨状を忘れず語り継がなければいけない」と語りました。平和の旅は、戦争の悲惨さに目を向け、平和の大切さを知る貴重な学習の機会となりました。



堂々とした発表は、来場者の心に届いたようでした。



約400人が訪れ、狸々やキッチンカーを満喫していました。

## ハロウィンのお供に狸々を HALLOWEEN BAR 狸々

IR 野々市駅の北口プラザで日本酒「狸々」を楽しむイベントが10月13日（日）に開催されました。夕暮れ時に始まったこのイベントは、会場がハロウィン仕様に飾られて雰囲気たっぷり。狸々が1杯目無料で提供されたほか、季節限定の「狸々秋あがり」や狸々カクテルも味わうことができ、開始早々からにぎわっていました。来場者は「狸々の名前が聞いたことはあったが、飲むのは初めて。さらっとしている」「飲みやすい」などと話し、狸々の魅力が伝わった様子でした。

## “鉄道の日”に野々市駅が大にぎわい！ えきまえむすびーと & KAGAYAKI ∞ STAGE

10月14日（月・祝）“鉄道の日”に、IR 野々市駅周辺でグルメやステージなどを楽しむイベントが開催されました。当日は、キッチンカーのほか、鉄道模型や子どもあそびの広場、ワンちゃんふれあいコーナーなどが登場。交遊舎前のステージでは、47都道府県を制覇したストリートドラマー リエイをはじめ、多彩なアーティストが歌やラップ、ダンスなどを披露しました。また、布水中学校吹奏楽部など地元の団体もステージを飾り、見事なパフォーマンスで会場を沸かせました。



鉄道の日になみ、IR沿線では多くのイベントが開催されました。

# まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎ 227-6056



ぼくも遊びに行ったの～



## 子どもたちの好奇心が爆発！ こどものまち BomBomTown2024

9月22日（日・祝）・23日（月・振休）、体験型消費者教育事業「こどものまち BomBomTown」がにぎわいの里のいち カミーノで開催され、市内の児童約100人が参加しました。ボンボンタウンとは、子どもたちがつくる仮想のまちです。警察官やカフェ店員などの仕事を体験したり、自分のお店を出したり、自分で働いて稼いだお金（疑似通貨）で買い物をしたり、それぞれが「やってみたい！」と思うことを存分に楽しみました。

このまちでは、選挙でキャプテンを選びます。キャプテンの縄本せあらさんは、「みんなで楽しめるまちにしたい」を公約に掲げ、今年で3年連続の選出。子ども議会の中で副キャプテンと一緒に「ステージに風船を飾りたい」「のっティを呼びたい」などまちの声を反映させ、より良いまちにしようと頑張っていました。さらに、皆が働いて納めた税金を使い、成り手の少ない仕事の給料を倍にするなど、まちの課題解決のためにも尽力。イベントの最後には、収支報告と成果発表も行いました。自分たちが納めた税金がどのように使われているのを知ることによって、それぞれがまちとのつながりを感じていたようでした。

参加した子どもたちは、どうすればもっと商品が売れるのか、より良いまちになるのかを常に考えながら主体的に行動し、大きく成長した2日間となりました。

## 障害がある“みんな”と家族のための みんなの音楽会

9月14日（土）、にぎわいの里のいち カミーノでみんなの音楽会が開催されました。これは、障害などで不安のある人や小さな子どもと一緒に楽しめる、音を立てても動いても大丈夫なコンサート。野々市市出身のバイオリニスト・坂口昌優さんとピアニスト・鶴見彩さんが、クラシックの名曲からディズニーソングまで全9曲を披露しました。また、演奏を聴くだけでなく、指揮者体験や客席みんなで歌う場面もあり、さまざまな形で音楽に触れた45分間となりました。



客席を縫って目の前でバイオリン演奏も。視線はくぎ付けです。